

癌化学療法 投与計画書 （新規・変更）

加算番号

提出日

氏 名

主治医:

生年月日

性別

病名:再発又は難治性の多発性骨髄腫
患者本人へ説明した内容:

プロトコール名: TAL【A法:QW】維持期

クール目

開始日

次回予定日

身長(cm)

体重(kg)

体表面積(m²)

0.000

確認事項

- ☐ 事前にTalque【A法】漸増期を実施していること。
- ☐ 免疫調節薬、プロテアソーム阻害剤及び抗CD38モノクローナル抗体を含む少なくとも3つの標準的治療が無効又は治療後に再発した患者を対象とする。
- ☐ 最低6日を空けて投与すること。
- ☐ 前投薬のレナデックス、レスタミン、カロナールは任意で必要な場合は別途処方要。

							DAY 1
	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・ 速度	コメント	1月 0日
1	タービー	0.4mg/kg		皮下注			○
							.mg

※網掛け部分にご記入ください。

1サイクル: 7日

投与日: day1

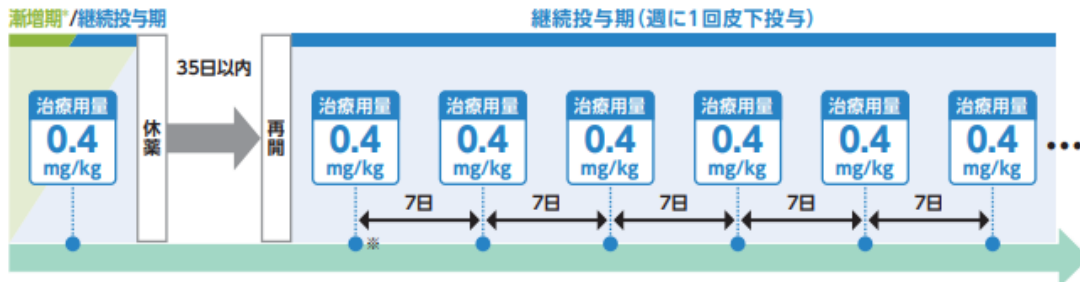
※何らかの理由により予定された投与が遅れた際には、別シート(休薬後の再開方法)記載の再開方法を確認すること。

《注意事項》

- 1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします。
- 2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

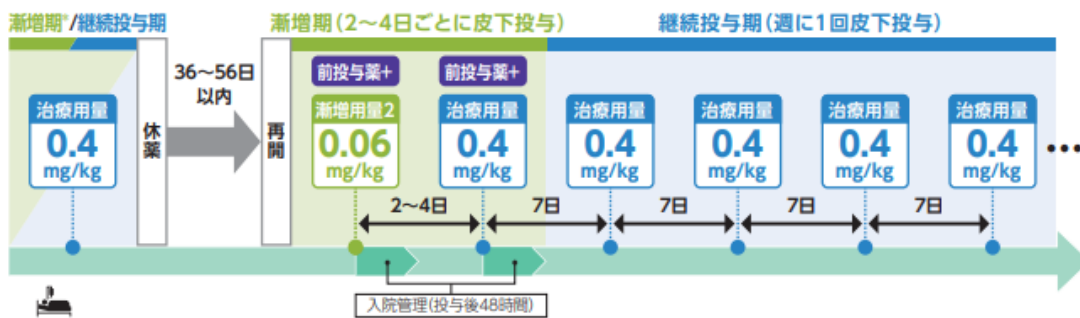
※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。

③休薬直前の用量：治療用量(0.4mg/kg)
<5週間(35日)以内の休薬の場合>

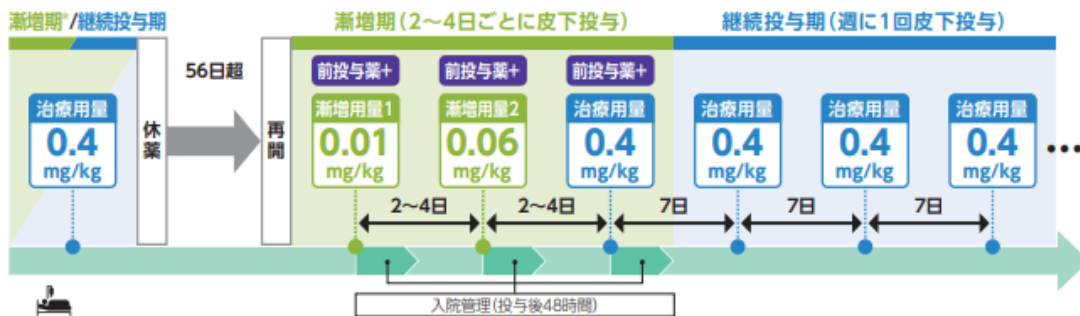


※CRSによる休薬後に投与再開する場合は、次回の本剤投与開始前に前投与薬の投与を行ってください。

<5週間(35日)を超え、8週間(56日)以内の休薬の場合>



<8週間(56日)を超える休薬の場合>



※ 休薬前の漸増期における治療用量 (投与3回目) の場合は入院管理 (投与後48時間) の検討及び前投与薬の投与を行ってください。